



進路だより

令和2年度

10月号

令和2年10月27日発行

渋川青翠高等学校 進路指導部

(文責 柳)

●●「就職試験」が始まりました●●

10月16日(金)から来年度4月新卒入社の就職選考が解禁になりました。本校の生徒も順次受験に行っています。今年度第1期出願者のうち、一番遅い試験日程は10月30日です。早いところからは既に続々と内定通知が届いています。

10月27日現在の就職内定率は40.3%です。

今年度の就職試験の顕著な特徴として、製造職を中心として、これまで面接のみで選考していた企業が「学力試験を課す」ようになったことがあげられます。

今後は、就職だから勉強はしなくてもよい、「学力試験」のないところを受けようという考えしていると、限られた職種しか選べなくなります。選択の幅を広げるためにも、定期試験や実力テストをペースメーカーとして日々の授業と課題には真剣に取り組みましょう。



●●AO入試、総合型選抜●●

今年度は進学のスケジュールが大きく変わり、大学の合格発表は来月以降となっています。そのため、現在合格が出ているのは、専門学校のみでAO入試と一部の推薦入試です。現在の進学決定率は37.8%です。

今月はAO入試と総合型選抜が実施されました。この時期の入試は2学期中間試験と入試の日程が重なります。そのような状況もあらかじめ想定し、総合型選抜やAO入試での受験を希望する生徒は、早期から計画的な入試準備が必要です。大学のAO入試は、今年度から総合型選抜と名称が変わり、「学力を問わない」AO入試から「学力を問う」入試に変わりました。プレゼンテーション入試を実施するところも増えていて、物怖じをしない、人前でしっかり話ができる、などの素養が試されます。授業中に指名されたら大きな声ではっきりと受け答えをする、発表のある授業では、聴いている人を意識して堂々と伝えるなど、日頃からの心がけを大切にしてください。



社会系学部では、世界や社会の課題について広く関心を持ち自分自身の考えを持つことが求められ、理系や文学・芸術系の学部では、その分野の関心・意欲や専門的知識が高いレベルで求められます。先日配布した「ハイスクールタイムス」などを熟読し、世の中の動向にも関心を持つ習慣を身に付けてください。



また部活動での顕著な実績も評価されます。部活動に加入し、目標を立てて、目標達成に向けて精一杯努力してください。

大学に進学したいけれど推薦基準に届かないから、基準のない総合型選抜にしよう、などという安易な気持ちでは合格できない入試です。この入試を目指す人は、1、2年生のうちから、学びたい分野をできるだけ早期に決め、実力をつけることが求められます。



●●「学校推薦型選抜」●●

来月からはいよいよ大学の「学校推薦型選抜」が始まります。この入試に出願するには、まず校内の推薦基準を満たす必要があります。

今年度の学校推薦型選抜スケジュール

願書受付	11月1日～
合格発表	12月1日～

本校の推薦基準は次の通りです。評定平均の推薦基準は、平均の評定平均値を基に設定しています。授業に真面目に取り組んでいれば、手が届かないものではありません。

1、2年生はしっかり頭の片隅に入れて基準を満たせるよう、意識して学校生活を送ってください。

推薦基準

①指定校推薦

- ア 欠席日数が3年間を通して10日以内であること。
- イ 遅刻・早退の合計が3年間を通して10回以内であること。
- ウ 3年間、特別指導を受けていないこと。
- エ 原則として3年間の評定平均が3.5以上であること。

②公募制推薦

- ア 欠席日数が3年間を通して20日以内であること。
- イ 遅刻・早退の合計が3年間を通して20回以内であること。
- ウ 3年次に、特別指導の対象となる問題行動がないこと。
- エ 原則として3年間の評定平均が3.3以上であること。

●●オンライン学習●●

新型コロナウイルス感染症の影響で、大学生のオンライン講義が長引いていることが問題となる一方で、この機会に海外の大学と提携し、オンラインで海外の複数の大学の講義を受講できるカリキュラムを取り入れる大学も出てきました。

オンライン講義では、対面の講義と違い、怠けていても注意をしてくれる先生が近くにいないので、学ぶ側の主体的な意欲が問われます。

そもそも有償の高等教育を受けるからには、自分のために学んでいるのだという意識、1講義にいくら払っているのかというコスト意識が欠かせません。もちろん高校も同様です。1時間1時間の授業を大切にして、自分のためにしっかり学んでください。

